

令和8年度 振興助成金 贈呈先団体および事業内容等

令和8年9月17日

公益財団法人 大電教育振興会

	項 目	内 容
1	助成金贈呈先団体	フリースクール「日輪スクール」
	団体所在地	佐賀市
	代表者	加藤 雅世子(理事長)
	助成事業の名称	体験活動を通して社会とつながり、自立に向けた力を育む事業
	活動及び助成事業内容	現在、さまざまな理由により学校に通うことが難しい子どもたちが、佐賀市内において増加傾向にあります。その中には、「学校には行けないが学びたい」「人と関わりながら少しずつ社会とつながりたい」という強い意欲を持つ子どもたちも多く存在しています。こうした子どもたちに対し、学習支援と体験活動を組み合わせた支援を行い、安心して過ごせる「第三の居場所」の提供に取り組んでおり、本事業では、助成を受けることで体験活動の機会を拡充し、子どもたちが社会とつながる実感を得ながら自己理解を深め、将来の自立に向けた一歩を踏み出すことを活動の目的とします。
	助成金額	200, 000円
2	助成金贈呈先団体	表現の絆みらい Kick ton ton 基山
	団体所在地	基山町
	代表者	調 淨信(代表)
	助成事業の名称	表現の絆みらい第8回本公演「想ひ鶴」を上演プロジェクト
	活動及び助成事業内容	異なる価値観を持つ人と接する機会が減り、自身の役割や価値を見出しにくい現状がある。そこで、地域題材(想ひ鶴)を活かした舞台制作に取り組み、フィールドワークや主体的な稽古の実施を通し、子どもたちが当事者として「考える・話し合う・実行する」ことで、協調性、自主性、コミュニケーション能力を持つ人材が育ち、それらの人材が地域を「ふるさと」として盛り上げる。そのきっかけとなることを目的とする。
	助成金額	200, 000円
3	助成金贈呈先団体	三養基高校サッカー部保護者会
	団体所在地	みやき町
	代表者	仁田 治雄(代表)
	助成事業の名称	サッカー部の強化支援並びに部員の健全育成と三神地域の活性化
	活動及び助成事業内容	恵まれているとは言えない環境下で練習をしている、三養基高校サッカー部員達の練習環境等の改善(地域施設の利用)による、心技体の向上と、県内実力校と同様の環境でプレーができるという部員のモチベーションの向上と感謝の気持ちの醸成など、サッカーというスポーツを通じて『青少年の健全育成』に寄与することを目的とする。また、サッカー部の評価向上により、三神地域の活性化にもつながることを期待する。
	助成金額	200, 000円
4	助成金贈呈先団体	公益社団法人 ON THE ROADs
	団体所在地	佐賀市
	代表者	津田 和泉(代表理事)
	助成事業の名称	いじめに悩む子どもと家族に、佐賀の自然と地場産業の体験を贈る
	活動及び助成事業内容	いじめの相談を受けてから、子どもが復学や元の生活に戻るまでの時間がかかるケースでは、子どもと保護者の会話の機会が少ないことや、家庭の事情が影響している場合が少なくない。そこで当会では年度で1番相談・伴走支援が多くなる9月初旬に相談を受けた子どもたちを対象に、学校遠足等の機会を得にくい不登校のお子さんが学校や友人と過ごす時間の楽しさを感じて学校に戻る弾みに出来るよう、10月に体験イベントを実施している。このイベントは伊万里など西部での実施が多く、佐賀市や佐賀県東部に在住の子どもたちの参加人数が限られており、彼らにも参加しやすい準備を行い復学や進学に繋げてもらうことを目的としている。
	助成金額	200, 000円
5	助成金贈呈先団体	池田企画
	団体所在地	佐賀市
	代表者	池田龍二(理事長)
	助成事業の名称	マメラボ ～大豆の一生を学ぼう～
	活動及び助成事業内容	近年、地域社会のつながりの希薄化や体験活動の減少により、子どもたちが学校外で多様な世代と関わりながら学ぶ機会が少なくなっている。また、学校だけでは補いきれない探究的な学びや実体験の場が求められている。マメラボは、地域の大人や大学生、企業等と連携しながら、子どもたちが「やってみたい」「知りたい」という気持ちを形にできる学びの場を提供することで、主体性や協働性、地域への愛着を育むことを目的とする。
	助成金額	120, 000円
6	助成金贈呈先団体	一般社団法人 キャリア教育支援センター
	団体所在地	佐賀市
	代表者	岡山 香織(代表理事)
	助成事業の名称	「こどもキャリアアカデミー」(こどもキャリア探求事業) ～本物の仕事体験とキャリアカウンセリングを掛け合わせた、最先端のキャリア教育モデル～
	活動及び助成事業内容	高校卒業時の進路選択や大学卒業時に就職する際に「自分の強みがわからない」「何に向いているかわからない」と悩む若者が非常に多い現状がある。原因として、こどものころに、自分の固有の強みや非認知能力を客観的にフィードバックしてもらうキャリア教育の機会がないことが考えられ、本事業では、こどもたちに、企業で実際に働いている人の見学・仕事の体験、並びにキャリアコンサルタントからフィードバックをもらう機会を提供することで、自己理解を深め、主体的に進路を選択する力をつけてもらうことを目的としている。
	助成金額	200, 000円

・助成金の対象期間は令和8年9月1日～令和9年9月30日で各団体により活動期間の予定は異なります。